

かまつばた

2026年新年号
Vol.116

あいち診療所 野並
名古屋市天白区福池2-330-2
TEL 052-895-6637
令和8年1月4日発行

年頭所感 いい医加減

理事長 畠 恒士

が測れないし、各人の好みがあるから本人に聞くしかない。あなた好みの湯にしますよというメッセージ。

社会的なかわり

私は昨年ついに後期高齢者の烙印をいただいた。この一年に向けて所感を書けとのリクエストにしばし思ひをはせた。

湯温の設定は自分で好きなように調節し、スーパーに行けばほしいものを探してセルフレジで会計して持つて帰る。誰とも付き合わなくても暮らせる時代になつた。これは喜ぶべきことなのだろうか。

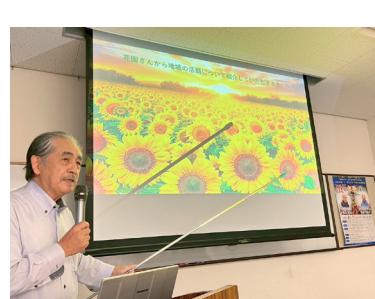
わが国では、世界に誇る健康保険制度があり、それが長寿を支えているともいわれる。

健康保険上での私たち医師の役割は、患者さんが病気になつてからその病気を診ることである。病気にならないようにするのが大切なのに

主観的評価から導き出した国際的によく使われる世界幸福度ランキン

グで日本は55位でここ3年間下がり続けているという。

「病名がないと保険請求ができない」。生活習慣病は治らない、管理し続ける病気である。生活習慣病の患者さんは定期的にお付き合いができるのでその方の思いに近づくことが可能である。



地域交流会での講演の様子

医加減はいかがですか

人それぞれに「いい湯加減」があるよう、「いい医だな♪」といわれる医者であります。医加減はいかがですか

そろそろ終活に入ろうとする高齢者にとつて血圧を厳密に管理することは必ずしも最優先事項ではない。人それぞれにもつと大切なことがあります。

最近あまり耳にしなくなつたがこの言葉はいかにも日本的な言葉であり好きな言葉である。薪で風呂の湯を炊き、湯温は火加減で調節して温度

循環器を診る医師にとつて極めてショッキングな話がある。59歳以上に限ると、血圧をきちんと管理するよりも社会的なかかわりをたくさ

これはドリフターズのつい口づさみたくなる曲

「湯加減はいかがですか？」



地域の皆さまと
自然栽培活動

いい医だな♪



あいち診療所 野並
院長 野村 秀樹

あけましておめでとうございます。
昨年も多くの皆さんに支えていただき、
診療所として穏やかに一年を過
ごすことができました。

皆さん的生活の一部としてより身近な存在になれるよう、「地域で暮らし続ける」ことを支える取り組みを進めていきたいと考えています。また、皆さん自身の健康つくりや病気に対する知識のアップデートも重要です。地域での健康講座等にも取り組みたいと思います。困りごと、相談ごとやご要望があれば、どうぞ遠慮なくお知らせください。



（左）健康祭りで
よさこい踊りを披露



（右）健康祭りでの
看護師・リハビリスタッフに
よる健康相談の様子

「案山子」の一一番と二一番の出だしは
それぞれ次の通りです。

城跡から見下ろせば／青く細い川／
橋のたもとに造り酒屋の／レンガ煙突／
笑、山の麓／煙吐いて列車が走る。

この歌詞の舞台になつたのが島根
県の津和野であると知つたのは約二
十年前のことでした。それからいつ
か津和野に行き、城跡から町を見て

さだまさしさんの歌「案山子」の
サビの部分です。四十数年前、東京
から名古屋に来て、ホームシックに
なりかかった時、この曲を毎日のよ
うに聞いていました。両親はきっと、
この歌詞のように心配しているんだ
ろうなと胸が熱くなるものがありま
した。

元気でいるか／間に慣れたか／
友達てきたか／寂しかないか／お金
はあるか／今度いつ帰る。



あいち診療所 滝の水
院長 岡崎 嘉樹

みたいと思い続けていました。
今年、ようやく津和野を訪れること
ができました。ただし、煙吐く列車を
見るには、土日祝日限定、一日一便、
十三時七分津和野着のSLやまぐち号
を城山公園に登って待つ必要がありま
した。時間になると、遠くから汽笛が
聞こえ、やがて蒸気機関車が蒸気音と
ともに白い煙を吐きながら、レンガ煙
突の向こうを走り抜けて行きました。
わずか数分間でしたが、当時の不安な
気持ち、親に心配をかけた申し訳なさ、
親への感謝などで胸がいっぱいになり



造り酒屋のレンガ煙突



煙吐く蒸氣機関車